



がつ はづき
8月 (葉月)

こんげつ 今月のテーマ:

ものがたり で まうじ
物語に出てくる数字について

かんがえてみよう!

しあわせルール

し・・・しずかに
あ・・・あそばない
わ・・・わすれない
せ・・・せいりせいとん



シトリん

カラーのおたよりを見たい
ひとは、ホームページをみ
てね

なつやす
夏休みはいかがでしたか?

今年の夏は特に暑くて大変でしたね。この暑さはまだまだ続きそうですが、春夏秋冬の変化をたのしみながら、読書の秋に向けて「本の国へ図書委員会も準備をはじめています。

今年の読書週間は10月下旬～11月上旬の予定です。

詳細は次号でお知らせします。

なつやす か ほん
夏休みまえに借いた本は、
がつ ちに かなら へんきやく
9月8日までに、必ず返却
してください。



さかな よ かたく いず 魚の読み方クイズ



(こたえは裏面にあります。)

今年度は魚の読み方をクイズにだします。
では、さっそく・・・

「鱸」は何と読むでしょうか?

よ むかしはなし ～読んでみよう! 昔話～ ふしぎな数字「3」に潜む秘密



おはなしの世界では「3」という数字はとても不思議な役割を果たします。みなさんがよく知っている『三びきのやぎのらがらどん』や『三びきの子ブタ』や『三年峠』や『三まいのおふだ』のように本のタイトルに「3」という数字が入っているものも多いですが、それ以外でもおはなしの中で「3」という数字はよく出てきます。特に昔話の中では、だいたい同じことが3回くりかえされ、一番最後の3回目には何か大きな変化が起こるものです。『三びきのやぎのらがらどん』でも1匹目のらがらどん、2匹目のらがらどんが橋の下にいるトロールに声をかけられて食べられそうになります。3匹目のらがらどんも同じように声をかけられますが、逆にトロールを退治してしまいます。3回繰り返すおはなしは、3回目に何かが起こるといわけです。これは日本でも外国でも似たような傾向があります。

みなさんも「3」という数字を意識して、本を読んでみるとおもしろいですよ。ぜひためしてみてください。



『空飛ぶライオン』 佐野洋子 作

昭和64年～平成3年 4年生の国語に掲載されていました。*光村ライブラリーより

本当はつらいのに、本当のことを言えなかったことはありませんか？

そんなあなたに贈るすてきな物語です。

ねことライオンは親戚だったので、一緒に暮らしていました。あるところに立派なライオンがいました。ねこたちはそのライオンをみたくて毎日やってきました。ライオンは何かねこたちにサービスをしたくなります。ねこたちは大喜び。でもライオンはだんだんと疲れてきます。本当の気持ちを言えなくなったライオンは……。(ぜひ続きを読んでみましょう。)

いちにち 一日1SDGs

わたしたちにできること

8月の主な行事

水の週間・水の日

山の日

広島・長崎原爆投下の日

終戦記念日

……などがあります。



おうごん さかな 今月の詩:「黄金の魚」

「クレーの絵本」谷川俊太郎

講談社 (1995年10月発行) より引用

おおきなさかなはおおしくちで
ちゅうくらいのさかなをたべ
ちゅうくらいのさかなは
ちいさなさかなをたべ
ちいさなさかなは
もっとちいさなさかなをたべ
いのちはいのちをいけにえとして
ひかりかがやく
しあわせはふしあわせをやしないとして
はなひらく
どんなよろこびの ふかうみにも
ひとつぶのなみだが
とけていないということはない



さかな かんじくイズ のこたえ!!

「鱸」は……

「すずき」と読みます!!



3～6年生のみなさんへ

ロイロノートでの「シトリン通信(朝日小学生新聞 やSDGs に関する情報・図書委員会からのおしらせなど)」は、9月6日(水)から再開します。

